

令和6年度 宮古島市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和7年5月

宮古島市（沖縄県）

○計画期間：令和6年4月～令和11年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和6年度終了時点（令和7年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、令和6年3月に中心市街地活性化基本計画の認定を受け、高揚感と活気のあるまち“ひと+まち+みなと”賑わい繋ぐまちづくりをテーマに、「中心市街地とみなとまちの連携による満足度の高い交流機会の提供」、「訪れやすく、多彩なサービスを心地よく楽しめる商業空間の形成」、「誰もが住みやすく、安全・快適で利便性の高い居住環境の整備」の3つの基本方針のもと、同計画に掲げる事業に取り組んでいる。

中心市街地とみなとまちの連携については、中心市街地とクルーズ船のバースが近く、大型クルーズ船入港数の増加に伴って中心市街地への観光客の流入数は増加傾向にある。民間活力を生かした再整備事業のプロポーザルによる観光交流拠点整備の提案がなされており、集客施設整備については進み始めており、市街地とみなとまちの賑わいの連鎖と回遊性の確保に向けて順調である。しかし、臨港地区から中心市街地への路線バス等の公共交通機関が運行しておらず徒歩やタクシー等でのアクセスのみになっているといった課題がある。

訪れやすく、多彩なサービスを心地よく楽しめる商業空間の形成については、空港等の主要な場所から中心市街地にバスが運行しており、市民や観光客の方たちがアクセスしやすい状況となっている。旧平良庁舎の利活用については、民間事業者が複合施設として活用する計画もあり、さまざまな年代の方の来訪が見込まれる。

誰もが住みやすく安全・快適で利便性の高い居住環境の整備については、西里大通りの下水道整備事業が完了したことにより、今後居住人口の増加が見込まれる。

以上のように、今年度は目標指標の達成に向けて準備を進める年度となった。みなとまちの再整備事業や、旧平良庁舎の利活用など、今後に向けて中心市街地活性化に寄与する事業が始まっている。一つ一つの事業成果を積極的に情報発信していくことで、中心市街地の活性化が一步步前に進んでいることを、市民や観光客に実感していただけるようにしていきたいと考えている。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（基準日：毎年度3月31日）

（中心市街地 区域）	令和4年度 （計画前年度）	令和6年度 （1年目）	令和7年度 （2年目）	令和8年度 （3年目）	令和9年度 （4年目）	令和10年度 （5年目）
人口	2,674	2,501				
人口増減数		△173				
自然増減数		△73				
社会増減数		△100				

2. 令和6年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

宮古島市中心市街地活性化計画の初年度にあたる令和6年度は、計画エリア内にある西里大通りの公共下水道整備事業の完了により市街地生活環境改善が進んだほか、市役所旧平良庁舎のPFI法に基づく利活用事業において優先交渉権を得た民間事業者との協議が進み、マーケット・飲食・サービス店舗・オフィスなどの複合施設としての整備が2026年の開業に向けて本格化したことで、官民連携による中心市街地活性化の方向性を市民に示すことができたと感じている。

中活計画では賑わい再生に向けた民間の取り組みとして、活性化に向けたハード事業を担う民間まちづくり会社の設立と、賑わいづくりのソフト事業として定期的に誘客イベントなどを行う組織体制の構築が記されている。まちづくり会社は令和6年10月に設立され、港湾緑地のPPP事業として実施されるひらりん公園の民間活力による再整備事業の事業プロポーザルにおいて中活計画に沿った観光交流拠点整備の提案がなされた。審査の結果、新設された民間まちづくり会社が港湾緑地PPP事業の優先交渉権を得て、2028年の開業に向けて市との契約協議が始まったことなど、中活計画に示されたまちなか集客施設整備については順調に推移している。

賑わい創出によるまちづくりを担う組織構築に向けては、中活協議会が主体となって既存の商店街振興組合や任意団体の通り会などからのヒアリングを行い、各団体間での意見交換や協議の場を設けた結果、市から中心市街地整備推進機構の認定を受けて中活協議会を運営するNPO法人をソフト事業の主体組織として活用する方針が示された。さらに、宮古島市が令和7年度に整備を実施する根間公園（仮称）を誘客イベントの拠点として活用するために、「ひろばを核にしたまちづくり」をテーマに公園予定地の周辺住民や事業者との協議やセミナーなどを実施し、中活協議会から市に公園整備のランドデザイン提案を行なった。

市街地への交通アクセス改善については、中活計画と並行して賑わい再生事業として進められ、計画エリアも重複している〔宮古島市みなとまちづくり基本計画〕との連携・連動による交通体系の広域的な検討が有効であることから、みなとまちづくり計画のエリアマネジメントを行う協議体の設置を市に求め、中活協議会とみなとまちづくり協議体の連携協議を提案している。また、まちなか居住の増加に向けては、民間まちづくり会社が主体となり優良建築物整備事業（市街地住宅供給型中心市街地共同住宅供給タイプ）を活用した事業展開が検討されている。居住環境向上にとって市街地中央に整備が進められている根間公園（仮称）は有益な福利施設となることから、公園の徒歩圏内の民有地での集合住宅整備を目指す。

民間事業としては計画提案に向けた情報共有ベースにとどまるものの、中活協議会を通した市への整備提案なども活発に行われるなど、認定中活計画の遂行に対する官民連携体制は順調に形成されているといえ、次年度以降の展開に期待が持てる。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況※1	目標達成に関する見通し※2	
						前回の見通し	今回の見通し
まちなか拠点の機能強化とみなとまち整備による賑わいの創出	都市福利施設・観光交流施設等の利用者数(人)	77,413 (R4)	74,058 (R10)	48,910 (R6)	C	-	A
交通アクセスの向上と回遊性の高い空間整備による来街・滞在の促進	中心市街地の来街者数(バス停利用者数)(人)	5,214 (R3)	6,537 (R10)	8,423 (R6)	A	-	A
都市機能の充実と住環境の整備によるまちなか定住の魅力向上	中心市街地の居住人口(人)	2,674 (R4)	2,632 (R10)	2,501 (R6)	C	-	B

< 基準値からの改善状況 (※1) >

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A : 目標達成、B : 基準値より改善、C : 基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A : 目標達成が見込まれる

B : 目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる

C : 目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない

※「< 基準値からの改善状況 (※1) >」、< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >ともに、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。(例 : a、b、c)

2. 目標達成見通しの理由

「都市福利施設・観光交流施設等の利用者数」については、利用者数が大きく減少しているものの、公設市場では指定管理者制度による民間活力によって活性化をはかれるよう取り組みを検討している。マティダ市民劇場では、令和5年度から照明のデジタル制御を導入し、公演する側の利便性を高めることで公演回数が増加するのではないかと考えている。今後、公演数の増加とともに、利湯者数の増加も見込まれる。これからも継続的な取り組みを図ることで目標達成をする見込みがあると考えている。

「中心市街地の来街者数」については、大きく増加し目標値を超える結果となった。空港などの主要施設からのアクセスがしやすくなったことで、中心市街地への来街者数が増加していると考えられる。入域観光客数の増加傾向にあり、目標値の達成をさらに更新していく見込みである。今後も引き続き来街者数も増加に向けて、交通アクセスだけでなく訪れたいと思えるまちづくりを進めることで、滞在時間の増加も実現していきたい。

「中心市街地の居住人口」については、対策が進んでいないこともあり減少となった。今後、空き家対策事業やまちづくり会社主導による共同住宅供給事業などの住宅整備だけでなく、根間

公園整備事業や旧平良庁舎利活用が進んでいく中で、安全で快適な利便性の高い居住環境を整備することで「住みたい」「住み続けたい」と思える中心市街地を作っていけるのではないだろうか。まちなか居住の魅力を高めていくことで今後、人口が回復していく見込みがあると考えている。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

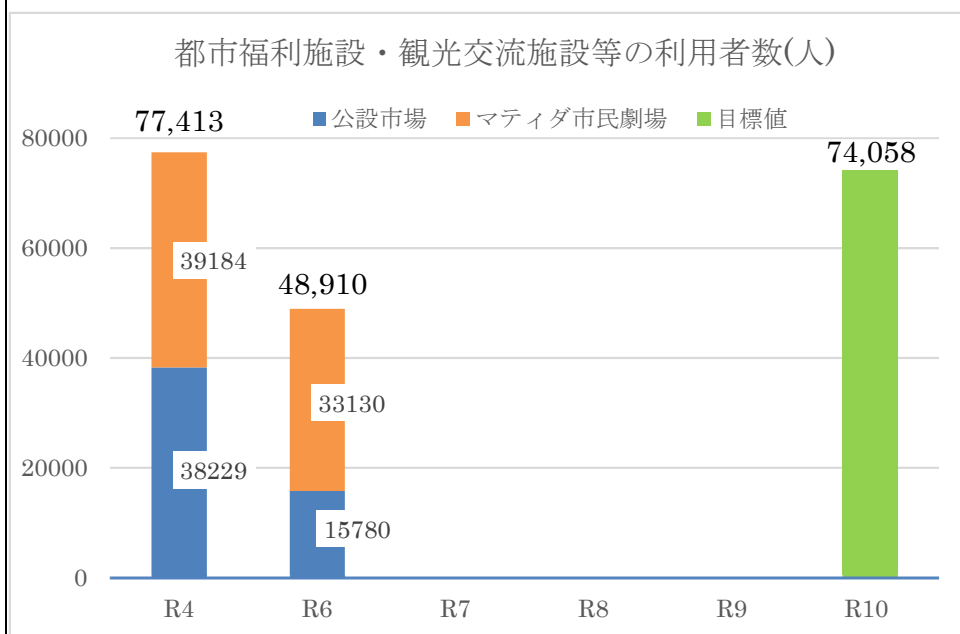
計画初年度のため、前回フォローアップの実施はなし。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「都市福利施設・観光交流施設等の利用者数」

※目標設定の考え方は認定基本計画 P. 55 参照

●調査結果と分析



年度	(単位:人)
R4	77,413 (基準年 値)
R6	48,910
R7	—
R8	—
R9	—
R10	74,058 (目標値)

※調査方法：公設市場は各事業者から提出される報告書により把握

マティダ市民劇場は委託業者からの報告書により把握

※調査月：令和6年4月～令和7年3月

※調査主体：公設市場は宮古島市観光商工スポーツ部観光商工課

マティダ市民劇場は宮古島市生涯学習部生涯学習振興課

※調査対象：公設市場は各事業所への来客数

マティダ市民劇場は来場者数

(単位:人)	令和4年度 (計画年度)	令和6年度 (1年目)	令和7年度 (2年目)	令和8年度 (3年目)	令和9年度 (4年目)	令和10年度 (5年目)
公設市場	38,229	15,780				
マティダ市民劇場	39,184	33,130				
合計	77,413	48,910				

〈分析内容〉

公設市場については各事業者からの報告に頼っているため、集計していないことや、未提出の月もあり来客数が半減しているように見える。しかし、来客数を集計営業日数で割った場合大きな差は出ておらず、R4 年度と R6 年度の集計営業日数を同じにすると、R4 年度は 38,229 人、R6 年度は 37,087 人となる。目標値には、達していないものの今後回復する見込みは見えているのではないだろうか。

マティダ市民劇場は、利用者が 6,054 人減少している。稼働率が前年度よりも落ちているため、稼働率を上げる努力が必要である。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 公設市場（指定管理者及び PFI 導入可能性検討）（宮古島市）

事業実施期間	令和4年度～ 【実施中】
事業概要	民間活力により活性化が図れるよう、指定管理または PFI 導入も含めて令和7年以降に具体的な取り組みを検討する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 36,838 人 【最新値】 15,780 人 現在は検討段階であり、事業者の決定などしていない状況であるため、利用者数は減少している。
事業の今後について	来年度以降実施予定

② はりみず公園周辺の再整備（宮古島市）

事業実施期間	令和5年度～令和8年度 【未】
事業概要	はりみず公園周辺における賑わい空間を創出する。キッチンカーの出店やイベントの開催などを実施する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 32,160 人 【最新値】 — 人 再整備は進んでいないため、利用者数はいない状況である。再整備が進むことで、増加を見込んでいる。
事業の今後について	来年度以降実施予定

③ 根間公園整備事業（宮古島市）

事業実施期間	令和５年度～令和８年度【実施中】
事業概要	広場やベンチ等の休憩施設、トイレなどの便益施設や民間事業者及び観光客が集う交流イベント等の開催を想定し整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	沖縄振興特別推進交付金
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 32,160 人 【最新値】 — 人 現在設計図書作成段階であり、令和７年度～令和８年度で整備を行う予定である。
事業の今後について	中心市街地活性化に寄与する施設となるよう、担当者と打合せを行いながら設計し、今年度中の整備開始に向けて進めていく。

④ 旧平良庁舎利活用検討・旧平良第２庁舎跡地利活用検討（宮古島市）

事業実施期間	令和３年度～【実施中】
事業概要	市役所機能移転後の旧平良庁舎について、民間資金を活用した運用を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 54,397 人 【最新値】 — 人 現在、利活用事業者が決定し飲食業や、オフィス等として活用するために改修工事をし、2026 年開業に向けて調整を進めている。
事業の今後について	中心市街地のシンボルの一つになる事業となるよう、利活用方法を協議しながら、2026 年開業を目指す。

⑤ ひらりん公園の再整備（宮古島市）

事業実施期間	令和５年度～【実施中】
事業概要	はりみず公園周辺における賑わい空間を創出し、キッチンカーの出店やイベントの開催などを実施する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 207,840 人 【最新値】 — 人 ひらりん公園の民間活力による再整備事業の事業プロポーザルにおいて中活計画に沿った観光交流拠点整備の提案がなされ、まちなか集客施設整備にむけて順調に推移している。
事業の今後について	今後、施設整備に向けて協議を行い、事業完了に向けて事業を進めていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

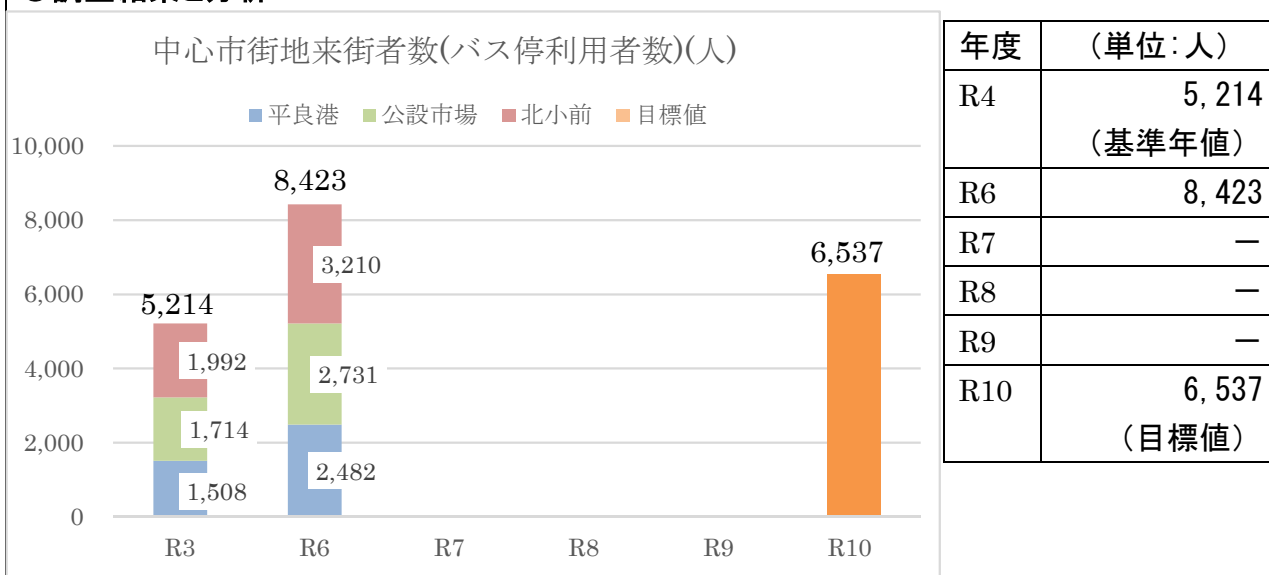
都市福利施設・観光交流施設等の利用者数については、今後増加していく見込みである。公設市場の利用者数は前年度減少してしまったものの、今年度から指定管理者制度の活用を検討し、導入することで充実した施設となり、来客数の増加を見込めるのではないかと考えている。マティダ市民劇場では、公演数を増やす施策をとっていくことで目標値を達成可能であると考えている。

今後の対策としては、旧平良庁舎や根間公園など、他の都市福利施設の充実によって、中心市街地を一体的に利用できるよう整備を進める対策をとることが必要であると考えている。

(2)「中心市街地の来街者数(バス停利用者数)」

※目標設定の考え方は認定基本計画 P. 55 参照

●調査結果と分析



※調査方法：中央交通株式会社による集計

※調査月：令和6年4月～令和7年3月

※調査主体：中央交通株式会社

※調査対象：中央交通株式会社の平良港、公設市場、北小前の乗車人数

(単位:人)	令和4年度 (基準年度)	令和6年度 (1年目)	令和7年度 (2年目)	令和8年度 (3年目)	令和9年度 (4年目)	令和10年度 (5年目)
平良港	1,508	2,482				
公設市場	1,714	2,731				
北小前	1,992	3,210				
合計	5,214	8,423				

〈分析内容〉

どのバス停も利用者数が R3 年度比の 1.5 倍以上になっており、R10 年度の目標値を大きく超える結果となった。今後、利用者数を増加させていくためのバス停の待ち時間の充実などの施策を行っていききたい。また、バスだけでなく様々な交通手段でのアクセスにも力を入れていく必要がある。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 旧平良庁舎利活用検討・旧平良第 2 庁舎跡地利活用検討（宮古島市）

事業実施期間	令和 3 年度～【実施中】
事業概要	市役所機能移転後の旧平良庁舎について、民間資金を活用した運用を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 54,397 人 【最新値】 — 人 現在、利活用事業者が決定し飲食業や、オフィス等として活用するために改修工事をし、2026 年開業に向けて調整を進めている。
事業の今後について	中心市街地のシンボルの一つになる事業となるよう、利活用方法を協議しながら、2026 年開業を目指す。

② 公設市場（指定管理者及び PFI 導入可能性検討）（宮古島市）

事業実施期間	令和 4 年度～ 【実施中】
事業概要	民間活力により活性化が図れるよう、指定管理または PFI 導入も含めて令和 7 年以降に具体的な取り組みを検討する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 36,838 人 【最新値】 15,780 人 現在は検討段階であり、事業者の決定などもししていない状況であるため、利用者数は減少している。来年度以降の導入に向けて検討を進めている。
事業の今後について	来年度以降実施予定

③ エコハウス（宮古島市）

事業実施期間	平成21年度～ 【実施中】
事業概要	宮古島市は2カ所、年間を通して湿度が高いため、四季に合わせて各方向の窓を開放して、風通しのいい住宅となっている。今後の使い方としてはコワーキング、シェアオフィスなど含め再検討をする。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 1,460人 【最新値】 — 人 現在、宿泊施設として利用しているものの、宿泊者は少ない状況である。そのため、利用方法の再検討を行い利用者の増加を図る。
事業の今後について	今後、協議を進めていく

④ 根間公園整備事業（宮古島市）

事業実施期間	令和5年度～令和8年度【実施中】
事業概要	広場やベンチ等の休憩施設、トイレなどの便益施設や民間事業者及び観光客が集う交流イベント等の開催を想定し整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	沖縄振興特別推進交付金
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 32,160人 【最新値】 — 人 現在設計図書作成段階であり、令和7年度～令和8年度で整備を行う予定である。
事業の今後について	中心市街地活性化に寄与する施設となるよう、担当者と打合せを行いながら設計し、今年度中の整備開始に向けて進めていく。

⑤ ひらりん公園の再整備（宮古島市）

事業実施期間	令和5年度～【実施中】
事業概要	はりみず公園周辺における賑わい空間を創出し、キッチンカーの出店やイベントの開催などを実施する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 207,840人 【最新値】 — 人 ひらりん公園の民間活力による再整備事業の事業プロポーザルにおいて中活計画に沿った観光交流拠点整備の提案がなされ、まちなか集客施設整備にむけて順調に推移している。
事業の今後について	今後、施設整備に向けて協議を行い、事業完了に向けて事業を進めていく。

⑥ はりみず公園周辺の再整備（宮古島市）

事業実施期間	令和5年度～令和8年度 【未】
事業概要	はりみず公園周辺における賑わい空間を創出する。キッチンカーの出店やイベントの開催などを実施する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 32,160 人 【最新値】 — 人 再整備は進んでいないため、利用者数はいない状況である。再整備が進むことで、増加を見込んでいる。
事業の今後について	来年度以降実施予定

⑦ 商業施設の整備検討（宮古島市・民間事業者）

事業実施期間	令和5年度～ 【未】
事業概要	みなとと中心市街地の結節点として、飲食・専門店を中心とし、歩いて楽しめる商業スペース、ナイトスポットとしての魅力を備えた大人の社交空間を創出する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 1,161,795 人 【最新値】 — 人 現在、みなとまちづくり計画にて検討中であり、整備が終わり次第目標値に近づけるのではないかと考えている。
事業の今後について	宮古島市みなとまちづくり基本計画の事業とともに進んでく予定である。

⑧ 夏まつりの充実（宮古島商工会議所）

事業実施期間	平成17年度～【実施中】
事業概要	毎年7月下旬頃に、西里通り・下里通り・市場通りを歩行者天国にして開催される夏の1大イベントであり、花火大会の開催も予定している。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業
事業目標値・最新値及び進捗状況	毎年開催しており、来街者数の増加に寄与している。現在中心市街地で開催している唯一の大型イベントであるため、来街者数が増加するよう検討を重ねる必要がある。
事業の今後について	持続的な各通り会の連携力・企画力向上を図る運営体制の構築を行っていき、来街者数の増加に向けて調整を進めていきたい。

⑨ 交通ターミナル整備検討業務（協議会・宮古島市）

事業実施期間	令和 6 年度～【未】
事業概要	公共交通機関を利用した中心市街地へのアクセス利便性を高めるため、交通ターミナル等の設置について検討を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	現在導入の可能性を含め検討中である。
事業の今後について	協議、検討を行っていく。

⑩ 街なかウォーカブル推進事業（宮古島市・まちづくり会社・商店街連合会）

事業実施期間	令和 6 年度～【未】
事業概要	居心地が良く歩きたくなるまちづくりを目指し、歩行空間と滞在空間づくりを沿道商店街と一体となって進める事業である。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	現在、導入検討中でありまちなかへの回遊性の向上や滞在時間の増加に寄与する事業としていきたい。
事業の今後について	回遊性の高い空間や滞在時間の増加など、中心市街地への来街者の増加に寄与する事業とできるように検討していく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

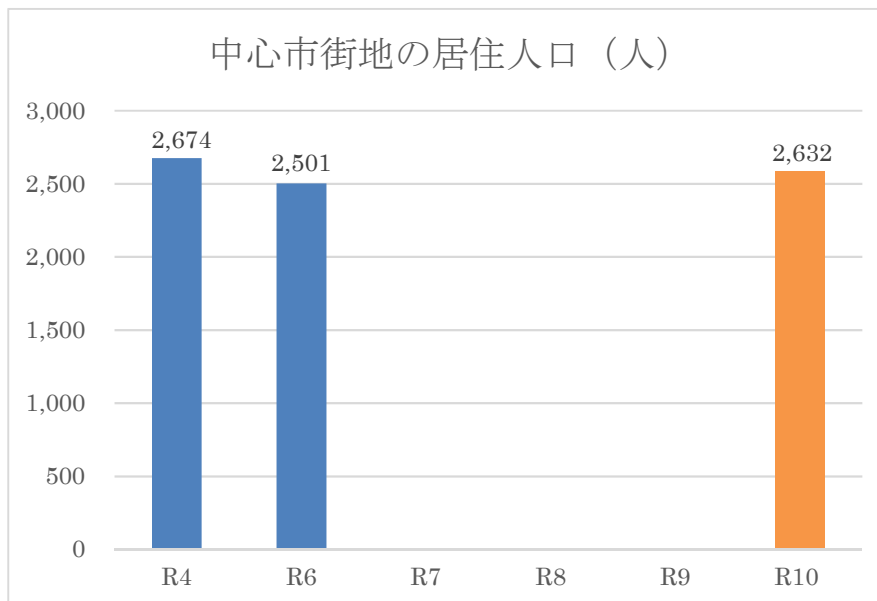
すべてのバス停においても利用者数は増加しており、主要施設からのアクセスがしやすくなっていることによって、中心市街地への来街者数が増加していると考えている。主要事業は、まだ大きく進んではないため、整備等が進めば今後さらに来街者数が増加し賑わってくるだろう。

今後は、レンタカーや自家用車でアクセスがしやすくなるよう駐車場の整備などにも取り組んでいきたい。

(3)「中心市街地の居住人口(人)」

※目標設定の考え方は認定基本計画 P. 55 参照

●調査結果と分析



年度	(単位:人)
R4	2,674 (基準年値)
R6	2,501
R7	—
R8	—
R9	—
R10	2,632 (目標値)

※調査方法：中心市街地に含まれる行政区で区域が一部のみ含まれる場合は住宅の延床面積により区域内外で人口を按分して算出した。

※調査月：令和6年4月～令和7年3月

※調査主体：宮古島市市民生活部市民課

※調査対象：中心市街地に含まれる行政区内の人口

〈分析内容〉

中心市街地の居住人口は大幅に減少している。令和6年度は住居対策に関する施策を実施できていなかったことが要因であると考え、今後、都市福利施設の整備や、空家対策事業などの住居の供給を進めていくことで人口が増加してくるのではないかと考えている。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① (仮) 公営住宅及び公有地活用による定住促進策の検討事業 (宮古島市)

事業実施期間	令和6年度～【未】
事業概要	PFI導入による公営住宅の活用及び公有地活用による民間賃貸住宅の整備促進など、若者の定住促進に資する方策の検討を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 60人 【最新値】 —人 若者定住促進に資する方策の検討により、5か年で3棟の民間賃貸住宅の整備を見込んでいる。
事業の今後について	今後検討を進めていく。

② 空家対策事業（宮古島市建築課）

事業実施期間	令和 6 年度～【実施中】
事業概要	若者向けの住宅の充実により、居住人口の増加に寄与する事業となるよう、空家実態調査を行うとともに、定住対策としての空家の具体的な利活用施策を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 6 年度に空家等実態調査を行い、813 件の空家が抽出されている。調査の中で所有者や相続人の連絡先が判明した物が 200 弱であるため継続して連絡先の調査を進めていく。
事業の今後について	所有者や相続人等を確認後、個々の意向に沿って売却、賃貸、リフォーム等、空家の活用を進める予定である。また、利用したい方とのマッチングも行っていく。

③ 中心市街地共同住宅供給事業（まちづくり会社）

事業実施期間	令和 6 年度～【未】
事業概要	民間まちづくり会社が主体となり優良建築物整備事業（市街地住宅供給型中心市街地共同住宅供給タイプ）を活用した事業展開が検討されている。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 6 年度は話し合いを行うことができなかったため、今後居住人口の増加に寄与する事業となるよう、検討を進めている。
事業の今後について	居住環境向上にとって市街地中央に整備が進められている根間公園（仮称）は有益な福利施設となることから、公園の徒歩圏内の民有地での集合住宅整備を目指す。

④ 下水道整備事業（宮古島市）

事業実施期間	令和 5 年度～令和 6 年度【済】
事業概要	住宅や観光客の増加により需要が増しているため、下里通りの公共下水道埋設工事を行う。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金（令和 5 年度～令和 6 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	下水道整備による悪臭の除去によって快適で住みやすい住環境を作り、居住人口の増加に寄与する。
事業の今後について	令和 6 年度工事完了

●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地の居住人口については、令和 10 年度の基準値は超えるものの目標値は超えることができないと考えている。今後、空家対策事業やまちづくり会社による共同住宅事業を進めていくことや、周辺住環境の整備を行い住みやすいまちづくりを進めていく必要がある。そのために、都市福祉施設の整備を行い、中心市街地内で完結する環境づくりを進めていく。